

【調査報告 第2弾】

全国の位置情報ビッグデータをAIが推計した調査結果の続報を発表 新型コロナウイルス感染症対策の政府基本方針発表前後で 人の流れの変化が鮮明に

～ 新宿35%、銀座30%減少、駅前スーパーや公園では日中の利用者が増加～

クロスロケーションズ株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役:小尾一介)は、自社開発する位置情報データ活用プラットフォーム「Location AI Platform™」の特徴エリア別定点観測機能を使用し、新型コロナウイルス感染症に関する人流変化を、位置情報ビッグデータからAIで解析した調査報告の第二弾を発表しました。

今回は、全国の観光地・繁華街などでの人流変化を、政府の基本方針発表があった2月25日前とその後の3月第一週の変化を比較調査し、その結果を発表します。

【結果と考察】

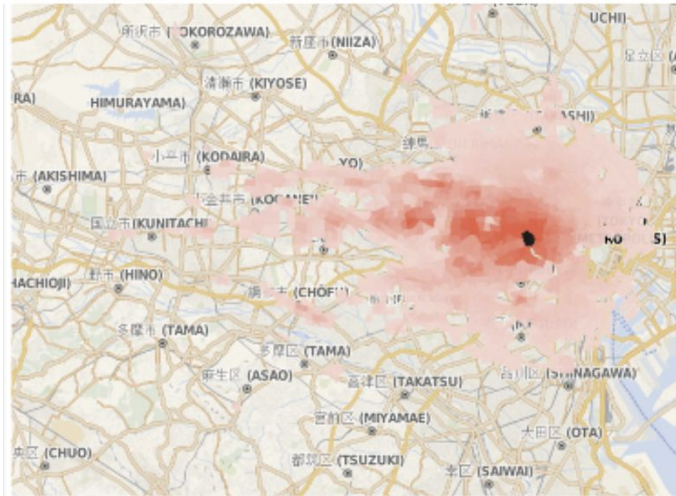
- 2月25日の新型コロナウイルス感染症対策基本方針発表後の全国の繁華街・観光地で訪問者数が減少傾向。3月に入ると、外出減少傾向がより強まる。
- 都心繁華街を昨年同時期と比べると、新宿歌舞伎町エリアでは約35%減少、銀座では約30%減少。
- 新宿エリアでは、遠方から訪れる人が減少しており商圏の縮小がみられた。
- 銀座エリアでは、2月前半から3月初旬にかけて、来訪者数の減少が週ごとに高まっている。
- 全国各都市の繁華街におけるにぎわいを比較した結果、鹿児島や宮城といった新型コロナウイルス感染者の出ていない/少ない地域では、大幅な減少傾向は見られなかった。
- 小中高等学校の休校が始まった3月2日からの週は、都内の住宅地近接公園へ日中人が集まる傾向がみられた。
- 東京都内の駅前スーパーでは、昨年同週比で来訪者が100-120%へと増加傾向。
- また、平日日中の来店傾向は、時間別に見ると昨年と比べ人々の動きにばらつきが見られる。従来みられた13:00-16:00ごろの来店数の減少は、2020年3月第1週ではみられず、来店者数が増加。

【解析・調査で判明したポイント】

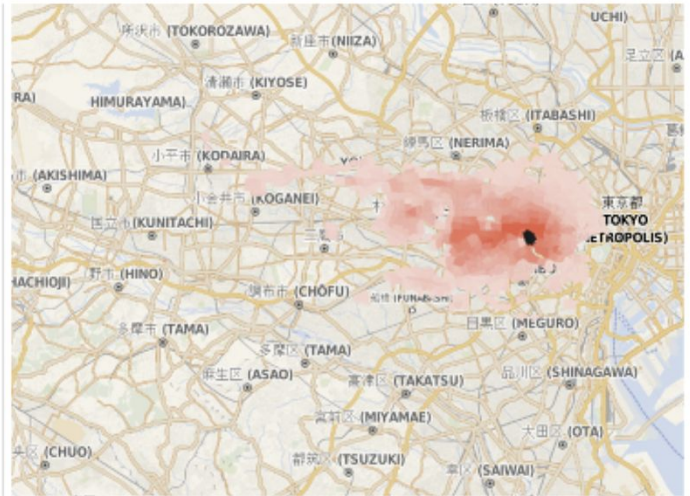
ポイント1.**都心繁華街では、不要不急な外出を控える動きが顕著、新宿は35%減少**

- 都心繁華街6エリアでは、政府のイベントなどの自粛要請がでた2月26日以後の3月第1週は、昨年同週比較でどのエリアも減少傾向を示している。

新宿エリアへの来訪率の変化



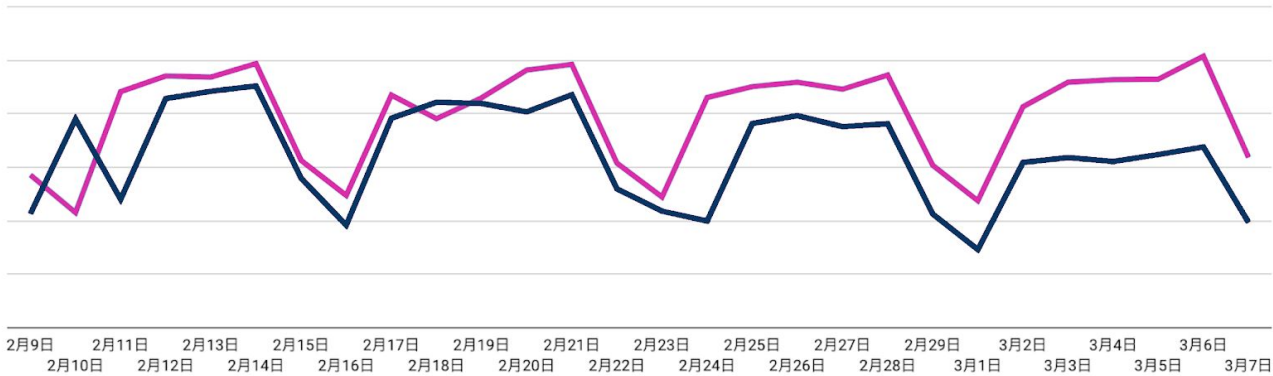
2019/3/1-7



2020/3/1-7

※Location AI Platform のデータを元に作成

銀座エリアへの日毎の来訪者数の変化



■ 2019年2月の来訪者推計
■ 2020年2月の来訪者推計

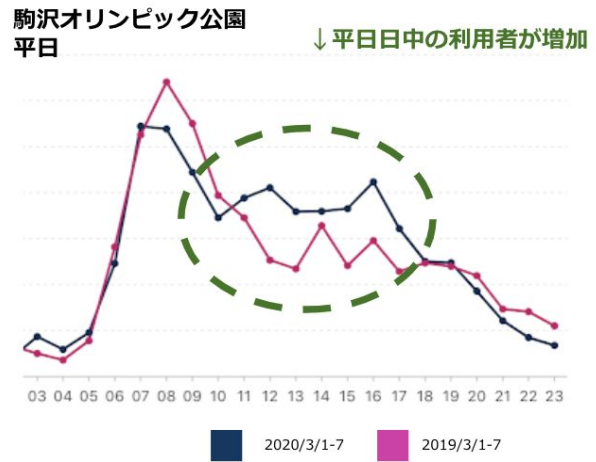
- 新宿歌舞伎町エリアでは約35%減少、銀座エリアでは約30%減少。
- 日毎の銀座への来訪数は、2月初旬から毎週減少しており、3月第1週は、2月中旬週と比較しても約30%減少している。
- 新宿や池袋エリアでは、遠くから訪れる人が減少し、商圈の縮小がみられた。
- 渋谷繁華街エリアは、昨年同週比較を行うと約13%減少しており、他エリアと比べると減少率は低い。これは、2019年に複数の高層オフィスビルが新たに建設されたため、渋谷の街全体へ人の流入が増えたことが要因として考えられる。

エリア名	人流比較 (昨年同日比較)
池袋	66%
新宿	65%
渋谷	87%
銀座	69%
上野	76%
六本木	60%

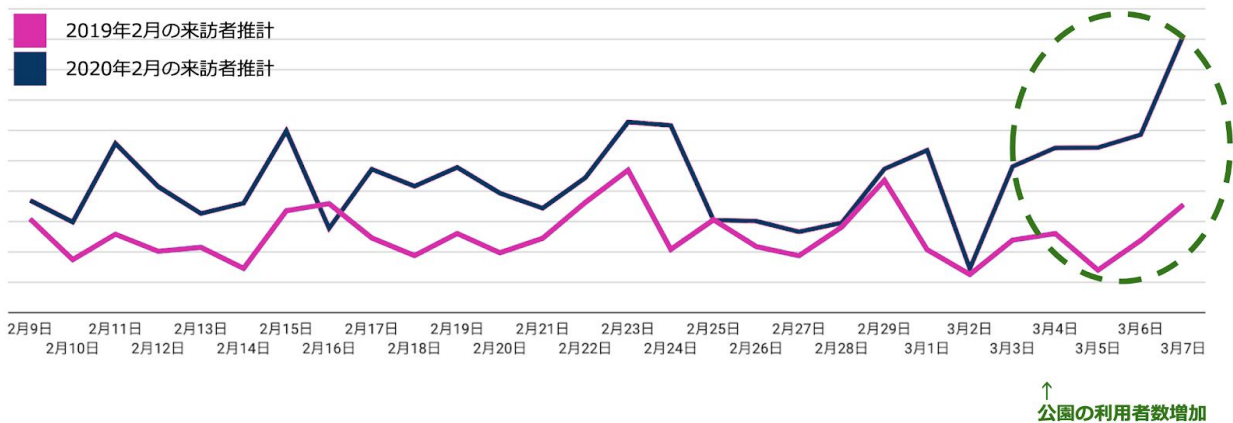
都心繁華街6エリアの人流比較
(2019/3/1-7vs2020/3/1-7)

ポイント2.住宅地に近い公園では日中の利用者が増加

- 小中高等学校の休校に伴い、住宅地に近い公園の日中時間帯の利用が大幅に増えている傾向にある。



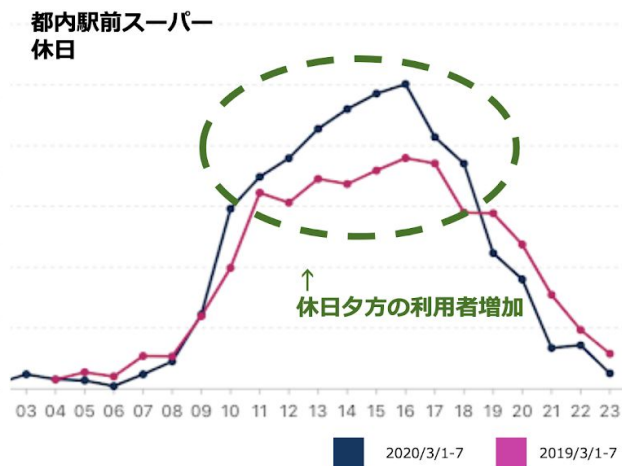
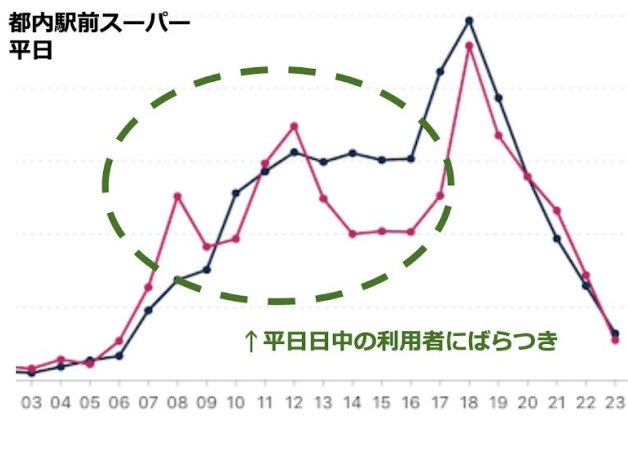
林試の森公園エリアへの日毎の来訪者数の変化



- 駒沢オリンピック公園(東京 世田谷区)において、平日日中10:00-16:00の利用者数が増加。世田谷公園(同)においても同様の傾向。
- 林試の森公園※においては増加傾向が顕著にみられ、昨年同週比較で利用者数は2倍に。
- 休校2日目の3月3日(火)の日中以降から、子供たちと保護者が遊びに出かけた可能性が考えられる。

※東京都目黒区下目黒と品川区小山台にまたがり所在する都立公園。

ポイント3.駅前スーパーの来店客数が増加。平日午後も来店者数が増加。



- 都内駅前スーパー複数店舗の平均的来店傾向を解析。

- 都内駅前スーパーでは、昨年同週比で約5-20%来訪者が増加。
- 平日日中の来店傾向は、従来はランチタイム後の13:00-16:00ごろの来店者数が減少していたが、2020年3月第1週では来店者数が増加傾向。
- 休日夕方のピークタイムが1時間前倒し、かつ増加傾向となり昨年対比130%超となる時間帯もある。

今後もクロスロケーションズ株式会社では直近の社会情勢を起因とした人流の変化について、位置情報ビッグデータを解析して得た考察を、定期的に配信する予定です。当社の持つ解析技術とデータを活かし、様々な企業・業態のマーケティング支援のほか、社会の様々なニーズに合わせた情報提供を行ってまいります。

今回の新型コロナウイルス感染症の影響に関しては、特定の観測地点(エリア・地点)を設け、定期的にビッグデータ解析を行い、変化をモニタリングします。次回は4月中旬を目処に、3月中の人流比較についての調査報告を発表する予定です。

【調査概要】

期間:2020/3/1-7 および2019/3/1-7,2020/2/16-22他

新型コロナウイルス感染症の拡大懸念が広がる中、政府による基本方針発表前とその後の日程での比較

新型コロナウイルスに関する主な出来事

- ・1/26 大手IT企業による全社員へのリモートワーク指示
- ・1/28 武漢からのツアーでの日本人バス運転手の感染、日本での感染が広まり始める
- ・1/31 マスク不足が目立つように
- ・2/2 ダイヤモンドプリンセス、香港の感染者がクルーズ船で来日
- ・2/6 ダイヤモンドプリンセス、大黒ふ頭着岸
- ・2/25 政府による対策基本方針を発表
- ・2/26 政府によるイベント自粛要請
- ・2/27 全国の小中高等学校の一斉休校を要請
- ・3/2 全国の小中高等学校の一斉休校

場所:繁華街・観光地となっている都心市街地、および全国市街地など複数箇所。

その他、都内公園約10ヶ所、都内駅前スーパー複数店舗。

指定したエリアのサイズに関しては、各エリアで異なる。

【調査に使用した製品 Location AI Platform】

Location AI Platform は、位置情報ビッグデータをAIが素早く分析・視覚化して、販売促進・マーケティング・需要予測などで活用できるプラットフォーム製品です。

流通・小売、外食、不動産などの様々な業種・業界を代表する企業様で活用されています。

◆無償デモ&ハンズオン キャンペーン◆

今回調査に利用した Location AI Platform を実際にお試しいただける無償デモ&ハンズオンキャンペーンを行います。ご希望の場所を Location AI Platformにて解析、その結果をハンズオン形式でご案内いたします。

- 分析地点数:ご希望の5カ所
- 費用:無料
- 申込URL:<https://www.x-locations.com/campaine/202003>

<クロスロケーションズ株式会社について>

「多種多様な位置情報や空間情報を意味のある形で結合・解析・可視化し、誰でも活用できるようにすること」をミッションとしています。位置情報ビッグデータをAIを使って解析・可視化する独自開発技術をコアに新たなプラットフォーム「Location AI Platform™」の開発・提供を行っています。

社名:クロスロケーションズ株式会社(X-Locations Inc.)

代表者・取締役: 代表取締役 小尾一介

所在地: 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-2-9 小林ビル6F

事業内容: 位置情報データ活用クラウド型プラットフォーム Location AI Platform™ の開発・提供

URL: <https://www.x-locations.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】

TEL 03-5734-1666, E-mail pr@x-locations.com

クロスロケーションズ株式会社 広報担当: 秋山